

海外IT 人材採用・定着ハンドブック

を作成しました！

～ 企業の経営者・人事担当者の皆様へ ～

- 日本のIT 分野において働いたことのある外国人材の約3割が就職を機に来日しており、海外在住の外国人材を活用する企業も増えてきています。
- 今般、厚生労働省では、企業の経営者や人事担当者の方向けに、国内のIT 人材のみならず、海外在住のIT人材も視野に入れられるよう、ハンドブックを作成しました。



チェックリスト

		チェック欄	✓がつかなかった場合
STEP 1 経営課題の抽出	自社の経営課題が抽出できている	<input type="checkbox"/>	P.4へ
	・ 今後の事業の方向性や自社のビジョンを確認し、その達成に向けた課題が整理できている	<input type="checkbox"/>	
	・ 海外IT人材を活用して解決したい課題が明確になっている	<input type="checkbox"/>	
STEP 2 求人像の明確化	求人像が明確になっている	<input type="checkbox"/>	P.6へ
	・ 海外IT人材に期待する業務・役割が明確になっている	<input type="checkbox"/>	
	・ 必要とする経験・スキルが明確になっている (ITスキル、言語能力等)	<input type="checkbox"/>	
STEP 3 採用準備	採用方針が明確になっている	<input type="checkbox"/>	P.8へ
	・ 採用ルートが明確になっている	<input type="checkbox"/>	
	・ 採用人数やスケジュールが明確になっている	<input type="checkbox"/>	
STEP 4 雇用手続き	海外IT人材の採用に係る手続きを理解できている	<input type="checkbox"/>	P.12へ
	・ 雇用契約書を説明し、納得の上で締結している	<input type="checkbox"/>	
	・ 就業規則を配布し、会社のルールについて理解を得ている	<input type="checkbox"/>	
STEP 5 受入体制・定着	社内の受入れ体制の整備や定着の取組を実施できている	<input type="checkbox"/>	P.14へ
	・ 人事と現場社員の間で認識が共有されている	<input type="checkbox"/>	
	・ 社内の受入体制が整っている (文化の違いの理解、コミュニケーションの取りやすさ等)	<input type="checkbox"/>	
	・ 社内の教育・評価・処遇体制が整っている	<input type="checkbox"/>	

【ハンドブックの内容】

- ◆ 海外からIT人材を受け入れる際のチェックリスト
- ◆ ステップごとに対応方針を解説
- ◆ 実際に海外IT人材の受け入れを検討している企業の具体例
- ◆ 国別参考情報 (中国、韓国、ベトナム、インド) …等

<以下の厚生労働省ウェブサイトをご参照ください！>

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/gaikokujin/index.html#h2_free5



【お問い合わせ先】

厚生労働省職業安定局外国人雇用対策課調整係 03-5253-1111(内線5687)